

2025 年 公式ルール&競技マニュアル一部改正 [PDF] メジャーチェンジ

メモ：今年の国内大会運営に影響すると予想される改訂のみ 2025 年度の翻訳対象としています。また一部、静岡県ディスクゴルフ協会様のご協力にて翻訳された内容を転載しています。黄色のハイライト部分がルールの変更箇所となります。

1.05 練習ラウンド、プレーの開始、遅刻：フレックススタートの追加

PDGA メモ：フレックススタートは、現在競技マニュアルでは認められていないが人気のある形式である。これは CM（競技マニュアル）に初めてこの概念を加えるものである。さらに、ショットガン・スタートとスタッガード・（ティータイム）スタートについては、以下の改訂によってよりよく説明される。

B. 競技を開始するために使用できるスタート形式には、以下の 23 種類があります。

ショットガンスタートでは、各グループは異なるホールから同時に競技を開始できるように割り当てられます。

a. 2 分前の合図は、すべてのプレーヤーに対し、練習が終了し PDGA のすべての規則と規制が適用されること、そしてトーナメントディレクターが 2 分後に競技を開始する意図があることを通知するものです。

i. トーナメントディレクターまたは指名されたトーナメントオフィシャルは、コース上のプレーヤー全員に周知できる手段で、2 分前の合図を出します。

ii. ホーンを使用する場合、その合図は 2 回の音で知らせます。

b. 開始の合図で、すべてのプレーヤーに競技が開始されたことを知らせます。

i. トーナメントディレクターまたは指名されたトーナメントオフィシャルは、コース上のプレーヤー全員に周知できる手段で、開始の合図を出します。

ii. ホーンを使用する場合、その合図は 1 回の長い音で知らせます。

c. 競技ラウンドが進行中のおよびトーナメントディレクターが設定したそれ以外の時間に、大会で使用する（一つ以上の）コースを使って練習することは禁止されます。

2. 順次スタート（ティータイムスタートとも呼ばれる）では、各グループが特定のホールから順番にスタートします。

a. 各グループは、1.04 で求められている通りスターターにチェックインした後、トーナメントディレクターから発表された時間にスタートしなければなりません。

b. 各プレーヤーは、自分のグループに対し 2 分前の合図をスターターが知らせるまで、トーナメントディレクターが指定した場所で練習することができます。

c. トーナメントディレクターが特に指定しない限り、競技ラウンドが進行中の間、大会で使用する（一つ以上の）コースを使って練習することは禁止されます。

3. フレックススタートでは、プレーヤーは自分のスタート時間や競技するグループ、またはその両方を選ぶことができます。

a. このスタート形式は、C ティア階級で認可された 1 日 1 ラウンドの大会もしくはリーグでのみ採用可能です。

b. フレックススタートには、1.06.A および C のグループ分けおよびセクション分けの要件は適用されません。

c. トーナメントディレクターは、スタート時間や競技するグループを調整することができます。

d. フレックススタートは、その他すべての点において順次スタートと同様です。

(1.05 翻訳：静岡県ディスクゴルフ協会)

1.12 トーナメントオフィシャル：コースマーキングを確認するためにビデオの使用を可とする
PDGA メモ：本改訂の趣旨は証拠写真やビデオをルール判定に適用できるものである。プレーヤーが写真やビデオを撮って TD に送ることで、コースマーキングの意味を明確にすることができる。

~~G. トーナメントディレクターは、特定の探索補助目的のためボランティアをスポッターとして任命することができます。ただし、スポッターの判定はグループの判定に優先しません。~~一般的に、トーナメントスポッター (801.02.H 参照) の判定は、グループの判定に優先しません。ただし、トーナメントディレクターは、認定オフィシャルであるスポッターに対して、ディスクが最後にインバウンズだった位置の判定など、特定の種類の判定において限定的にトーナメントオフィシャルとしての権限を与えることができます。

(1.12 G 翻訳：静岡県ディスクゴルフ協会)

~~H. ビデオやその他のメディアによる証拠は、違反の判定を行う目的で使用することはできません。そのような証拠は、(3.03 で記載された通り) プレーヤーの不正行為を記録する目的でのみ使用できます。プレーヤーの不正行為に関する証拠は、PDGA 懲戒委員会によっていつでも査定されます。~~

写真やビデオの証拠は、以下の目的でのみトーナメントディレクターまたはトーナメントオフィシャルが使用することができます。

1. 802.04.A に基づくティーエリアの指示、804.01 に基づく経路の規制、806 に基づく区域の規制、もしくはドロップゾーンに関するコース設定の意図を明確にするため。

2. (3.03 の通り) プレーヤーの不正行為に関連する判定を行うため。この証拠は、不正行為を目撃したその場にいた誰からでも提供される可能性があります。また、プレーヤーの不正行為に関する証拠は、PDGA 懲戒委員会によっていつでも評価することができます。

(1.12 H 翻訳：静岡県ディスクゴルフ協会)

2.01 一般：部門の種類と、どの部門に適用されるかを明確に定義するための追加

PDGA メモ：競技マニュアルでは、さまざまな種類の部門に言及している。それらは適切に定義されておらず、本改訂はその問題を解決するものである。

翻訳者メモ：12月24日のJPDGAの投稿にて国内の部門分けがはっきり定義された。現在、日本国内においてレーティングを元にしたアマ部門の細かいレベル分け（MA1, MA2 など）翻訳しない。

参考：2025年以降の部門と年齢区分の変更について（JPDGA）

<http://www.jpdgga.jp/main/jpdganews.php?itemid=1949&catid=14>

2.02：資格：TDに4人以下の選手で構成される部門を成立させることを義務づける。

PDGAメモ：ウィメン、シニア、ジュニアは自分のディビジョンに4人のプレーヤーを集めることができないことがよくある。TDは現在、4人未満の選手では十分なサービスを受けていない部門を運営するよう奨励されているが、その提案の採用率はまだ低いと会員は報告している。競技マニュアル2.06の変更により、真のアマチュア大会の要件が変更され、プレーヤーが1人のアマチュア部門にはトロフィーが不要となり、また、真のアマチュア大会におけるトロフィーの金額を決定するために2週間前までに締め切られることで、TDへの影響は最小限に抑えられるだろう。

翻訳者メモ：12月24日のJPDGAの投稿にてすでに知らせている通りに合わさった文言にします。

「ウィメン部門、ジュニア部門、50歳以上部門は1名から成立し、基本的には部門の統合は行いません。※ただし、1名で成立した部門については表彰を省く場合があります（※プロ部門の場合の賞金はあります）」

参考：2025年以降の部門と年齢区分の変更について（JPDGA）

<http://www.jpdgga.jp/main/jpdganews.php?itemid=1949&catid=14>

2.02 資格：PDGA番号のない選手については、TDが適切な部門を決定できるようにする。

PDGAメモ：時には、地元のプレーヤーがPDGAナンバーやレーティングを持っていなくても、トーナメントディレクターがそのプレーヤーのスキルレベルをよく知っていて、どの部門に属しているかを知っていることがある。これは、TDにその決定を下す権限を与え、そのプレーヤーにプレーする資格を与え、非会員による「サンドバッグ行為」（実力を偽ってより多くのハンディキャップでプレーすること）に対する会員の懸念に対処するものである。このルールはPDGA会員であったことのないプレーヤーにのみ適用される。PDGAナンバーを持っているが現会員でないプレーヤーや、PDGAプレーヤー格付けをまだ受けていない現会員には適用されない。

N. PDGA会員番号を持たないプレーヤーについては、トーナメントディレクターがそのプレーヤーの実績や能力に基づいてプレーヤーレーティングを推定することができます。

1. プレーヤーがレーティングを基準にする部門（2.01.B参照）に登録した場合、トーナメントディレクターは推定したプレーヤーレーティングを使用して、適切なレーティング基準の部門またはMA1またはFA1に、そのプレーヤーを割り当てることができます。

2. プレーヤーが自分の資格を満たすオープン部門（2.01.A参照）または年齢基準の部門（2.01.D参照）に登録した場合、そのプレーヤーはPDGA会員と同様に扱われます（2.02.M参照）。

3. 2.02.N.1に基づいてトーナメントディレクターによって部門に割り当てられたプレーヤーが、プレーに先立ってPDGA会員資格を取得した場合、そのプレーヤーは2.02.Mに基づき、自身の資格に合ったレーティング基準の部門に移動して競技することができます。

（2.02 N 翻訳：静岡県ディスクゴルフ協会）

2.06： 真のアマチュア：独立した文書を競技マニュアルに取り入れ、トロフィーの要件を調整する

PDGA メモ：このセクションは、以前は単独の文書へのリンクを持つ書式なし段落であった。今回の改訂では、その文書からの情報を競技マニュアルに取り込み、適切にフォーマットする。主な変更点はトロフィーのルーブリック（評価基準）である。TD が十分なサービスを受けていない人々（ウィメン、ジュニア、シニア）のために単独部門を運営しやすくするために、TD は選手 1 人の部門にトロフィーを提供する必要がなくなった。また、トロフィーの数は 1 位から 3 位までとなっている。最後に、TD はこの形式を使用することを宣伝し、選手たちが何を期待すればよいかを知ることができるようにする必要がある。

- A. 真のアマチュア（「トロフィーのみ」とも呼ばれる）とは、A ティア以下のアマチュア大会、またはアマチュア大会の一部で、賞品ではなくトロフィーのみを上位入賞者に授与することによって、アマチュア競技の真の精神を推進する大会において、PDGA が使用する呼称である。
- B. 大会に参加するすべてのプレーヤーは、プレーヤーパックを通じて均等な価値を受け取らなければならない。プレーヤーパックは、記念品および/またはトーナメント関連の物品で構成される。
 1. ある部門におけるプレーヤーパックの小売価格の合計は、その部門で要求されるティアの最低支払額を満たすか、それ以上でなければならない。例えば、6 人部門のティア要求最低支払額が 24,000 円である場合、各選手パックは少なくとも 4,000 円の価値がなければならない。
 2. プレーヤーパックの例としては、以下のようなものが挙げられるが、これらに限定されるものではない：
 - a. ディスク、ミニディスク、タオルなどのディスクゴルフ関連商品。
 - b. シャツ、帽子、ジャケットなどのウェア。
 - c. お菓子、お弁当などの食品。
 - d. その他、PDGA の「プレーヤーパックの価値として認められるもの」の条件を満たすもの。
- C. 各部門は、以下に示す最低トロフィー数を支払わなければならない。TD の判断により、最低トロフィー数を上回るトロフィーを提供することができる。トロフィーの獲得と授与のために、TD は各部門が獲得するトロフィーの数を決定する締切日を指定することができるが、その締切日は競技開始の 2 週間前までとする。
 1. 1 名：トロフィーを提供する義務はない
 2. 2-4 名：1 位のみ
 3. 5-12 名：1 位と 2 位のみ
 4. 13 名以上：1 位から 3 位まで
- D. TD は、大会要項などの事前登録資料において、真のアマチュア・フォーマットの使用を宣伝しなければならない。

5.02 部門変更：部門を運営する義務の明確化

PDGA メモ：このルールは、TD がウィメン部門を一定期間、募集することを義務化するものである。ウィメン委員会と PDGA のダイバーシティ&アウトリーチ・タスクフォースの両方が、PDGA のイベントで女性のための参加枠を確保するための良い方法として、この規則を挙げている。基本的には、TD は早期登録の 1 週間か、通常登録の最初の週にウィメン部門を提供しなければならない。上記の競技マニュアル 2.02 の変更案と組み合わせて機能する。競技マニュアルの新しいセクション 5 にあり、以前はツアー基準文書にあった規定が含まれている。

翻訳者メモ：12 月 24 日の JPDGA の投稿にてすでに知らせている通りに合わせた文言にします。

C. 大会においてミックス部門が提供される場合、主催者はウィメン部門を提供する必要がある。ただし、1 週間その部門にエントリーがなかった場合、TD の判断でその部門が取り消される場合がある。

5.03 コースの準備：C ティア以上の大会にトイレを設置すること

PDGA メモ：大会ではトイレへのアクセスは基本的な必要事項である。トーナメントディレクターは、少なくとも 1 つのトイレをプレーヤーに提供する必要がある。そのため、トイレの使用（レンタル）料は、すでに「必要経費」として予算を組むことが許される。本改訂は競技マニュアルの新しいセクション 5 に記載されており、以前はツアー基準文書に記載されていた条項が含まれている。

G. 全ての PDGA 公式戦においてトイレを設置することが必須である。

1. 各会場に以下の条件を満たす常設トイレまたは仮設トイレを設置すること：

a. すべてのプレーヤーがアクセスできること；

b. 石鹸、トイレットペーパーなどの在庫が整備され、正常に作動すること；

c. 大会開始の 60 分前までに利用可能であること；

d. プレーするコースのイベントスケジュールおよびイベント関連のすべての活動期間中、利用可能であること；

e. プレーするコースから徒歩圏内であること。

2. 上記のルールを遵守するために施設を借りなければならない TD は、トイレのパススルー（転嫁）料金（5.04.A.3.d を参照）を使って費用を相殺することができる。

3. 本ルールはリーグでは適用されない。

4. 本ルールはフレックススタートには適用されない（上記 1.05.B.3 参照）。フレックススタートでトイレが使用できない場合、TD は大会要項でプレーヤーに通知しなければならない。

5. トイレに関するベストプラクティス最適な運用方法については、PDGAの「水とバスルームに関する推奨事項」をご参照ください。